

計器用変圧器の JCSS 校正

JCSS校正証明書は、IATF 16949(ISO/TS 16949)、UL規格及び各種安全規格に対応できます。
校正結果は、ILAC/APLACのMRA（相互承認取決）を通じて、国際的に受け入れられます。

■ 対象測定器

高電圧から低電圧までを、安全に、精度良く測定することは大変な作業です。
このため、高電圧の測定は、計器用変圧器（VT）を用いて取り扱いが容易な電圧
に変換（変成）し、計器との組み合わせで測定する方法で用いられます。

VTは、絶縁が優れていること、
変成比が正確であることが重要です。



■ 主な定格

定格一次電圧	550/√3 kV ~ 100 V
定格二次電圧	150 V、110 V、100 V、110/√3 V

■ 校正範囲及び校正の不確かさ

校正条件	電圧（定格一次電圧）	校正の不確かさ ($k = 2$)
周波数 50 Hz、60 Hz 二次負担 100 VA ~ 無負担 二次負担力率 1	定格一次電圧の120% 以下 5% 以上 ただし、275/√3 kV 超過の場合は 定格一次電圧の110% 以下 5% 以上 また、電圧の上限は200 kV	比誤差 0.005 % 位相角 0.3 分

校正の不確かさは、校正範囲で一番小さなものを記載しています。

■ 校正手数料

例 定格 3.3 kV/110 V、校正点 100 %、50 %、10 %、周波数 50 Hz、60 Hzの場合

基本料金	11,000 円	
点数料金	15,600 円	(2,600 円 × 6 点)
合計	26,600 円	(校正証明書を含む。税別)



日本電気計器検定所 標準部 校正サービスグループ

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目15番7号

TEL : 03-3451-6762 FAX : 03-3451-1497

E-Mail : kousei-info@jemic.go.jp URL : http://www.jemic.go.jp